

酢酸エチル

別名:

CH₃COOC₂H₅

劇物(酢酸エチル)

(性状) 無色透明の液体で果実様の芳香がある。蒸気は空気より重く、引火しやすい。

引火点 - 4 、爆発範囲 2.0 ~ 11.5 %、沸点 76.8 、比重 0.90。

水にやや溶けやすい(20 で水 100 g に 7.5 g 溶ける)。

措 置

漏 え い 時

風下の人を退避させる。漏えいした場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。作業の際には必ず保護具を着用する。風下で作業をしない。

(少量) 漏えいした液は、土砂等に吸着させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。

(多量) 漏えいした液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所へ導いた後、液の表面を泡等で覆い、できるだけ空容器に回収する。そのあとは多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

出 火 時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能の場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。

(着火した場合)

初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には、水噴霧を用いるか、又は泡消火剤等を用いて空気をしゃ断することが有効である。爆発のおそれがあるときは付近の住民を退避させる。消火作業の際には必ず保護具を着用する。

(消火剤)

粉末、二酸化炭素、泡(アルコール泡)、水、乾燥砂

暴 露・接 触 時

人体に対する影響

(吸入した場合)

はじめに短時間の興奮期を経て、麻酔状態に陥ることがある。

(皮膚に触れた場合)

わずかに刺激があり、皮膚炎を起こすことがある。

(眼に入った場合)

粘膜を刺激して炎症を起こすことがある。

医師の処置を受けるまでの救急方法

(吸入した場合)

直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸困難又は呼吸が停止しているときは直ちに人工呼吸を行う。

(皮膚に触れた場合)

直ちに汚染された衣服やくつを脱がせる。直ちに付着又は接触部を石けん水又は多量の水で十分に洗い流す。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。

注 意 事 項

保 護 具

保護眼鏡、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、有機ガス用防毒マスク